

報道関係者各位

2026年4月13日  
北小金駅南口東地区市街地再開発組合  
野村不動産株式会社  
株式会社長谷工コーポレーション

JR常磐線北小金駅前における「住宅×商業×広場」の再開発事業  
**北小金駅南口東地区第一種市街地再開発事業 新築着工のお知らせ**

北小金駅南口東地区市街地再開発組合（理事長：鈴木悦朗 以下、本組合）と本組合に参加組合員として参画している野村不動産株式会社（本社：東京都港区／代表取締役社長：松尾大作）、株式会社長谷工コーポレーション（本社：東京都港区／代表取締役社長：熊野聡）は、千葉県松戸市にて進めております「北小金駅南口東地区第一種市街地再開発事業（以下、本事業）」において、2026年4月1日に着工しましたことをお知らせいたします。



再開発建物完成イメージ（現在計画中であり、今後変更となる可能性がございます）

この空中写真は、国土地理院発行の地理院地図（電子国土 Web）及び空中写真を一部加工したものを使用しております。

## 1. 本事業について

本事業の施行地区は、JR 常磐線「北小金駅（千葉県松戸市）」南口エリアに位置する約 0.9ha の区域です。歴史的には江戸時代の頃から水戸街道の宿場町「小金宿」として栄えたエリアであり、周辺は東漸寺や本土寺をはじめとする神社や寺院などの「文化・歴史的資源」が数多く分布しています。近年では、1994年3月に事業完了した「北小金駅南口第一種市街地再開発事業」により多くの人々が集うエリアとなっています。

一方で、本地区内では、「狭隘道路」、「老朽化した建物」、「駐車場等の低未利用地」の存在や、市民の憩いの場となる公園や広場などがなく、「防災性や安全性・快適性」などの課題を抱えております。本事業では、それらの課題解決を目指し、「防災性の向上」、「オープンスペースの創出」、「快適な住環境の整備」などの基盤整備を行うことで、魅力あるまちづくりの推進に貢献してまいります。

## 2. 本事業の特長

- (1) 「松戸市立地適正化計画～魅力あふれる松戸の未来～」に基づく地方創生、コンパクトシティ化
- (2) 松戸市の一事例目となる組合施行型市街地再開発事業※
- (3) 隣接する「北小金駅南口地区第一種市街地再開発事業（施行済）」と連続性のある開発
- (4) まちの憩いの場として広場（約 1,000 m<sup>2</sup>）を整備し、オープンスペースの創出

※松戸市 HP：北小金駅南口東地区第一種市街地再開発事業

<https://www.city.matsudo.chiba.jp/shisei/toshiseubi/shigaitisaikaihatsu/kitakoganesaikaihatsu.html>

## 3. 計画概要

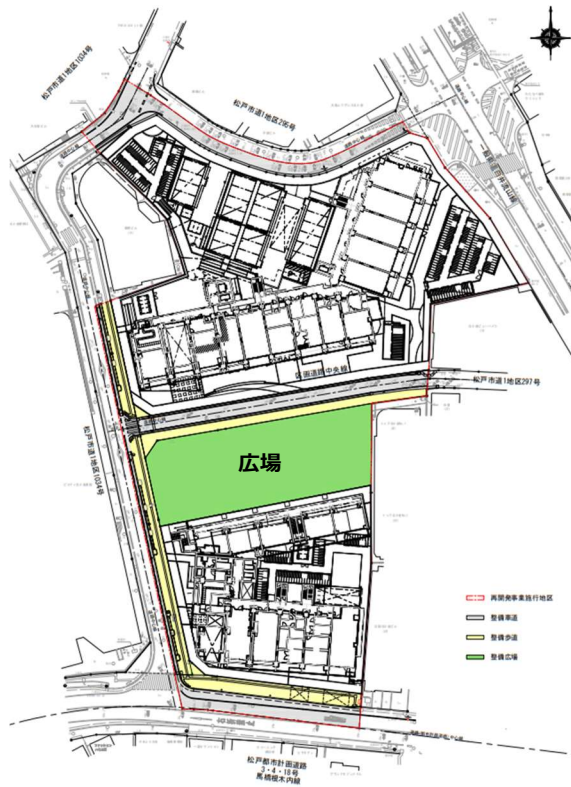
事業の名称	北小金駅南口東地区第一種市街地再開発事業
施行者の名称	北小金駅南口東地区市街地再開発組合
所在	千葉県松戸市小金、同市小金きよしヶ丘、同市東平賀の一部
施行区域面積	約0.9ha
建築面積	北敷地：約1,722m <sup>2</sup> 南敷地：約1,296m <sup>2</sup>
延べ面積	北敷地：約21,742m <sup>2</sup> 南敷地：約10,039m <sup>2</sup>
建築物の高さ/階数	北敷地：約60m/地上20階 南敷地：約45m/地上15階
主要用途	住宅・店舗・駐車場等
住宅戸数	379戸（予定） ※権利者住戸含む
事業コンサルタント	株式会社URリンケージ
特定業務代行者・設計・施工	株式会社長谷工コーポレーション
参加組合員	野村不動産株式会社・株式会社長谷工コーポレーション

※記載の内容は、今後の協議によって変更になる場合があります。

## 4. これまでの経過と今後のスケジュール

2020年7月	「北小金駅南口東地区市街地再開発準備組合」設立
2022年9月	都市計画決定
2023年9月	「北小金駅南口東地区市街地再開発組合」設立
2025年2月	権利変換計画認可
2025年7月	解体工事着手
2026年4月	本体工事着手
2028年度	竣工（予定）
2029年度	組合解散（予定）

## ■ 配置図



## ■ 広場イメージ



※現在計画中であり、今後変更となる可能性があります